

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成21年7月9日(2009.7.9)

【公表番号】特表2008-542847(P2008-542847A)

【公表日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【年通号数】公開・登録公報2008-047

【出願番号】特願2008-515176(P2008-515176)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

G 0 3 G 9/08 (2006.01)

B 4 1 J 3/54 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/00 1 0 6

G 0 3 G 9/08

G 0 3 G 9/08 3 7 1

B 4 1 J 3/54

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月21日(2009.5.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

2つの画像形成ユニットを備える印刷プロセスであって、それぞれが、粉末像が上に形成され得る画像媒体と、粉末像を転写するために画像媒体と接触可能な中間媒体とを含み、中間媒体は、粉末像を形成するためのトナーと組み合わせて、受容媒体の2つの別々の面に粉末像をほぼ同時に印刷するためのニップを共に形成する印刷プロセスであって、トナーが A P I 流動性試験機を使用して測定される 6 以上の流動性を有することを特徴とする、印刷プロセス。

【請求項 2】

トナーの流動性が 30 より高くないことを特徴とする、請求項 1 に記載のトナーと組み合わせた印刷プロセス。

【請求項 3】

トナーが、70 から 85 の温度、および 400 ラジアン / 秒の変形周波数で、1 E - 07 / Pa の損失コンプライアンス (J ") を有することを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載のトナーと組み合わせた印刷プロセス。

【請求項 4】

トナーが、75 から 80 の温度、および 400 ラジアン / 秒の変形周波数で、1 E - 07 / Pa の損失コンプライアンス (J ") を有することを特徴とする、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のトナーと組み合わせた印刷プロセス。

【請求項 5】

トナーがカーボンブラックでコーティングされていることを特徴とする、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載のトナーと組み合わせた印刷プロセス。

【請求項 6】

請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の組み合わせを備える、プリンタ。

【請求項 7】

２つの画像形成ユニットを備え、それぞれが、粉末像が上に形成され得る画像媒体と、粉末像を転写するために画像媒体と接触可能な中間媒体とを含み、中間媒体は、粉末像を形成するためのトナーと組み合わせて、受容媒体の２つの別々の面に粉末像をほぼ同時に印刷するためのニップを共に形成する印刷プロセスを使用するプリンタで適用するためのトナーを選択するための方法であって、トナーがＡＰＩ流動性試験機を使用して測定される６以上の流動性を有するように選択されることを特徴とする、方法。

【請求項８】

トナーがカーボンブラックでコーティングされている場合にトナーが選択されることを特徴とする、請求項７に記載のトナーを選択するための方法。